

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	西院保育園	施設種別	保育所 (旧体系： )
評価機関名	京都府保育協会		

平成 23 年 12 月 1 日

総 評	<p>昭和51年に公設民営保育所として開園した西院保育園は、平成17年に民設民営となり、限られた立地条件のなか、子どもたちにとって過ごしやすい環境になるよう保育・施設の両面から質の向上に努められています。</p> <p>保護者に寄り添いながら、親の責務を伝え「親が育てば子は育つ」考えのもと、各行事などを通じて保護者と園の連携が深まるよう取り組んでいます。</p> <p>「子どもの個性を大切にする」「自分の言葉でしっかり話す」の保育方針に基づき、子どもたちがのびのび、生き生きと生活する姿が見られます。また、園舎内には、珍しい形のかぼちゃや色々な種類の貝がらを展示するなど、自然物への関心が高まる環境があり、保育理念のひとつである「自然との対話」に基づく保育環境が用意されています。</p> <p>また、造形活動に力を入れており、子どもたちの喜び・疑問・感動など「心の動き」を造形活動を通じて表現出来る感性が育まれるよう配慮しています。</p> <p>園長は、全体職員会議、主任会議、各部署会議、行事会議等、全ての会議に参加し、常に園全体の保育が、園の方針に沿ったものとなるよう取り組んでいます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>園長のリーダーシップのもと職員は、各年齢に配置された主任保育士を中心に「報告・連絡・相談」を徹底し、チームワークを持って保育にあたっています。</li> <li>「実体験を大切にすることから、園外保育を積極的に取り入れ、身近な社会や自然に触れる経験の充実を図っています。園外保育での喜び・疑問・感動など子どもたちの「心の動き」を、造形活動で表現出来るよう取り組んでいます。</li> <li>給食は小規模保育所ならではの、丁寧な手作り料理を提供しています。近隣にある貸し農園では、種植えから収穫までを体験すると共に、収穫物はクッキング保育や食材として活用し、食事の大切さや楽しさを伝えています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の中長期計画等を活用し、園全体の一貫性のある計画として保育課程を編成されるとな良いでしょう。</li> <li>苦情解決の仕組みを整備し、保護者にも明示しています。今後は利用者からの意見等が出やすい環境や仕組みの工夫をされるとな良いでしょう。</li> <li>管理者を中心に、しっかりとした保育実践が行われています。今後は、それらの内容を明文化するなど、園文化の継承に努められるとな良いでしょう。</li> </ul>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【保育所版】

# 評価結果対比シート

---

受診施設名	西院保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育教会
訪問調査日	2011年12月1日（木）

**保育所評価基準 対比シート**

**I 福祉サービスの基本方針と組織**

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B	B
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

**[自由記述欄]**

・園長は、小学校校長を経て園長となり、学校教育を踏まえて、保育方針・園規定を策定しています。保育方針・園規定は職員・保護者に配布し、周知に努めています。

・現在の中長期計画等を活用し、園全体の一貫性のある計画として保育課程を編成されるとなおります。

・年間指導計画、短期指導計画は整合性を持って策定されており、全ての計画は管理者が評価を実施しており、次の計画に生かされています。

・全体職員会議、主任会議、各部署会議、行事会議等、全ての会議に管理者は参加し、常に園全体の保育が、園の方針に沿ったものとなるよう取り組んでいます。

・管理者は、ホール開設や屋上の有効利用、分園の設置等、施設内の有効利用や、地域のニーズに対応出来るよう取り組んでいます。

## II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	B
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	B
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	B
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	A
		③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	B
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
③ 定期的な個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		A	A	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	B	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A

### [自由記述欄]

・必要な人材に関する具体的な「目指す人物像」が明示されています。

・管理者と職員の面談を年一回実施しており、職員の就業状況や意向を把握するよう取り組んでいます。今後は、現在検討されている年次有給休暇の取得しやすい環境の整備を図られることが望ましいでしょう。

・職員一人ひとりに、次年度の自己目標を考えさせ、それに対する課題を明確にするよう取り組んでいます。その内容は、管理者が確認し、職員にアドバイスを与えています。園内・園外研修にも取り組んでおり、各自の目標に沿った研修に参加しています。今後は、確立されている教育・研修に関する基本姿勢を明確にされ、共有されるとなおいでしょう。

・実習生受け入れに対するマニュアルを整備し、毎年受け入れています。実習計画を作成し、養成校と連携を図っています。

・老人デイサービスへの毎月訪問(0歳児から)や、地域の小中学校運動会への参加、園庭開放、子育て家庭向けのクリスマスコンサート開催など、地域とのかかわりを大切にしています。中学生、高校生の体験学習の受け入れも行っています。ボランティアでは、地域の民生委員による、園児に対する伝承遊び等の体験を実施しています。

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	C	B
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	C	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	A

#### [自由記述欄]

・個人情報保護に関するマニュアルを整備し、全職員に、その内容の周知・徹底を促す取り組みを行っています。

・苦情解決の仕組みを整備し、保護者にも明示しています。今後は利用者からの意見等が出やすい環境や仕組みの工夫をされるとなおいでしょう。

・今回の第三者評価受診をきっかけとして、管理者及び各主任は、職員会議等でこれまでの保育内容を見直す機会を設け、職員同士で意見交換を実施しています。その内容は全職員が共有し、改善に向けて取り組んでいます。

・保護者や児童などに対する記録は、所定の書式により適切に管理されています。また、保育に必要な情報は、毎月のクラス会議で話し合い、職員間で共有し対応しています。

・入園希望の方に対して、随時園見学の受付や見学者へのパンフレット配布、保育内容を明示したホームページの開設など、必要な情報を提供しています。転園にあたり、転園先の保育所から要望があれば、配慮しています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	B	B
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	B	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	A
		④ 身近な自然や社会とかがわかれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

**[自由記述欄]**

・登所時や保育中の子どもの健康管理について、一人ひとりの体調や、普段の様子なども考慮に入れ、対応しています。今後は、それらの内容の基礎となる部分だけでも書面等でまとめ、対応されることが望ましいでしょう。

・内科健診、歯科健診を年2回実施し、保護者にその内容を伝えたと共に、保育に反映させています。

・給食は小規模保育所ならではの、丁寧な手作り料理を提供しています。近隣にある貸し農園では、植えから収穫までを体験させており、収穫物はクッキング保育や給食で調理し、食事の大切さや楽しさを伝えています。2ヶ月に1度、誕生会後に試食会を開き、保護者に食育に対する関心を促しています。

・園庭に色々な木や花があり、その一つひとつに名札を付け、子どもたちが身近に興味を持てるような自然環境を整えています。また、園舎内には、珍しい形のかぼちゃや色々な種類の貝がらを展示するなど、自然物への関心が高まる環境があり、保育理念のひとつである「自然との対話」に基づく保育環境が用意されています。

・狭量な園庭でも子ども達が活動的な遊びができるよう、スクーターや三輪車等の乗り物の台数を十分備えたり、屋上のスペースでも活動できるスペースを確保したり、園外保育で公園に出かけるなど、様々な工夫を実施しています。

・「実体験を大切にすることから、園外保育も全年齢で積極的に取り入れ、月1回の「弁当の日」には遠出をして身近な社会や自然に触れる経験をしています。その実体験からの喜び・疑問・感動など子どもたちの「心の動き」を、造形活動で自己表現にまで高められるよう取り組んでいます。子どもたちの造形作品は、園内のいたる所に大切に飾られています。

・延長保育に対する環境は整備され、子どもに関する引継ぎ事項等は、乳児は連絡ノート、幼児は健康ノートに記入し対応しています。障害児保育に対し、医療機関や専門機関と連携し対応しています。

#### IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当

#### [自由記述欄]

・保護者には寄り添いながら、親の責務を伝え「親が育てば子は育つ」考えのもと、各行事では、園と保護者で連携を取って進めたり、場面場面に応じた細やかな対応を心がけています。

・個人懇談は全園児年3回の実施、保護者懇談会も年3回実施し、園の方針に対して共通の理解が持てるよう取り組んでいます。

・虐待に対するマニュアルを整備し、連携機関との連絡方法が職員間で共有されています。

・子どもの発達記録やケア記録は、所定の様式に適切に管理され、小学校や専門機関との連携に活かしています。

・一時預かり保育は、実施していません。

#### IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	C	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	B
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

#### [自由記述欄]

・調理場、水周りはマニュアルに基づき、衛生管理を実施し、その内容は記録されています。

・食中毒発生時に対応するマニュアルがあり、その内容は全職員が閲覧出来るようにしています。また、食中毒に対する内容を保育室に掲示し、保護者にも注意を促しています。

・事故防止のため、防火・戸締り点検表の毎日のチェック、園外保育に出る際には、園外保育届出書を毎回管理者に提出するなど、その安全を確認しています。また、環境ノートを作成し、不備や故障などは迅速に対応するようにしています。

・事故や災害の発生時に対応出来るよう、管理者を中心に取り組んでいますが、それらの対応方法を園独自のマニュアルを整備されることが望ましいでしょう。